

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2010.12.6

No. 64



定期テスト不出来者やや目立つ？

先日行われた第4回定期テストの結果が出てきていますが、今回出来の悪いものが少し目立ちますがどうでしょうか。進路が決まりすっかり気が抜け、授業への取組が悪くなり、テスト勉強もかなりおろそかにしたと思われる者がみられます。赤点保持者は自動車教習が受けられませんが、今頃になり後悔している人がいるようです。

まだ高校卒業が決まったわけではありません。もう少しケジメをつけた取組をしないと、せっかく進路が決まっても卒業出来ないのでどうしようもありません。卒業を前にすると次第に気が抜けるのも一面理解は出来ますが、最後まで気持ちを引き締めないと、とんだ落とし穴につまずかないとも限りません。

残り高校生活も実質的には2ヶ月弱となりましたが、もう一度気持ちを引き締めなおし、日々の授業を大切にしつつ、これからの自分の生き方等に思いを向けて欲しいものです。

向上心を持たなければ進歩はない



進学者を含めすでに進路が決まった人が多くなってきましたが、皆さんは新たな旅立ちを前にして自分の将来に対しどのような思いを抱いているのでしょうか。何となく一日一日が過ぎていけばよいなどと考えている人は少ないでしょう。それぞれ将来に対して夢を抱き決意新たにしていることでしょう。

人間国宝の陶芸家がある器を作った際、本人にとってこれで満足というものはないでしょう。常にもっとよいものをつくりたいという向上心を持ち続けることにより、より完成度の高いものに仕上がっていくのです。

科学技術の進歩は、そこに携わる人々の飽くなき向上心のたまものです。私達の日常生活の中でも、常に向上心を持ち続けることにより、より進歩していくのです。

これで良いとそれ以上の進歩を望まないならばそこで止まってしまいます。さらなる向上を願うの努力は時には辛いこともありますが、そこに打ち込むことは生き甲斐を得ることに繋がります。スポーツ選手が常にさらなる勝利を目指し厳しい練習に耐え日々努力しているのは、勝利という達成感と周囲からの羨望を勝ち取るためでもありましょう。

楽な人生ばかりを願っているものには真の喜びをかみしめることは出来ません。皆さんもこれから社会に出てそれぞれの分野で、向上心を持ち続けてほしいものです。それがやがて皆さん自身の評価を高め、かつ皆さん自身の生き甲斐に繋がっていくでしょう。

就職合格者は企業への年賀状を出すこと
書き方の詳細は再度連絡しますが、その心づもりをしていて下さい。

